

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和7年 5月 1日

京都府知事 殿



提出者

住 所 京都府綾部市上杉町坂2番地
磯井実業株式会社
氏 名 代表取締役 磯井 良一

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0773-44-0120

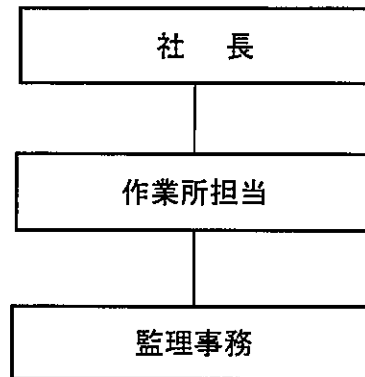
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	磯井実業株式会社
事業場の所在地	京都府綾部市上杉町堺ノ谷6-133
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	年間売上高 : 847 (百万円)
③従業員数	21人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） 解体による産業廃棄物の排出のため、抑制するのは難しい		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 特になし		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 木くず・がれき類・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・ 廃プラスチック類・繊維くず・混合廃棄物・鉄屑はそれぞれに分別し 保管を行っている。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 特になし。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	—	—
	（これまでに実施した取組） 実施していない。		
②計画	【目標】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 予定なし。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
②計画	【目標】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
①現状	（これまでに実施した取組） 木くずの破砕(チップ後売却) コンクリートがらの破砕（再生砕石）		
②計画	（今後実施する予定の取組） 特になし。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 予定なし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 木くずのチップ化を行い再生業者への売却。 再生利用ができるよう、中間処理施設への搬入を行っている。		

②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	現場により電子マニフェストの導入。		
	委託処理業者に関しては、できる限り再生利用を行う処理施設を利用 する予定。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

前 年 度 【 令和 6 年 度 】 実 績

産廃物の種類 と 名 称	計 画 の 実 施 状 況										(⑨-①-②-③-④-⑤-⑥-⑦-⑧-⑨-⑩-⑪-⑫-⑬)				⑬-⑭ 自ら発生利用 を行った量(ト)	⑬-⑮ 自ら発生利用 を行った量(ト)	⑬-⑯ 自ら発生利用 を行った量(ト)
	①排出量 (ト)	②自ら発生 廃棄した量 (ト)	③自ら発生 廃棄した量 (ト)	④自ら発生 廃棄した量 (ト)	⑤自ら発生 廃棄した量 (ト)	⑥自ら発生 廃棄した量 (ト)	⑦自ら発生 廃棄した量 (ト)	⑧自ら発生 廃棄した量 (ト)	⑨自ら発生 廃棄した量 (ト)	⑩自ら発生 廃棄した量 (ト)	⑪自ら発生 廃棄した量 (ト)	⑫自ら発生 廃棄した量 (ト)	⑬自ら発生 廃棄した量 (ト)	⑭自ら発生 廃棄した量 (ト)			
産業廃棄物の種類	①排出量 (ト)	②自ら発生 廃棄した量 (ト)	③自ら発生 廃棄した量 (ト)	④自ら発生 廃棄した量 (ト)	⑤自ら発生 廃棄した量 (ト)	⑥自ら発生 廃棄した量 (ト)	⑦自ら発生 廃棄した量 (ト)	⑧自ら発生 廃棄した量 (ト)	⑨自ら発生 廃棄した量 (ト)	⑩自ら発生 廃棄した量 (ト)	⑪自ら発生 廃棄した量 (ト)	⑫自ら発生 廃棄した量 (ト)	⑬自ら発生 廃棄した量 (ト)	⑭自ら発生 廃棄した量 (ト)	⑮自ら発生 廃棄した量 (ト)	⑯自ら発生 廃棄した量 (ト)	⑰自ら発生 廃棄した量 (ト)
①木くず	1,147	0	0	971	0	971	0	0	175	0	0	0	0	0	0	971	0
②がれき類	4,244	0	0	2,559	0	2,559	0	0	1,685	0	0	0	0	0	0	1,685	0
③焼アスファルト類	6	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	2	0
④繊維くず	42	0	0	0	0	0	0	0	42	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤ガラス・コンクリート くず及び陶磁器くず	233	0	0	0	0	0	0	0	233	0	96	0	0	0	0	0	0
⑥混合機葉物	573	0	0	0	0	0	0	0	573	0	0	0	0	563	0	0	0
⑦ガラス・コンクリート くず及び陶磁器くず (石綿含有産業廃棄物)	49	0	0	0	0	0	0	0	49	0	0	0	0	49	0	0	0
⑧その他のがれき類 (石綿含有産業廃棄物)	0.03	0	0	0	0	0	0	0	0.03	0	0	0	0	0.03	0	0	0
⑨焼アスファルト類 (石綿含有産業廃棄物)	0.02	0	0	0	0	0	0	0	0.02	0	0	0	0	0.02	0	0	0
⑩蛍光灯 (水銀使用製品)	0.03	0	0	0	0	0	0	0	0.03	0	0	0	0	0	0	0	0
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
16																	
17																	
18																	
19																	
20																	
合計	6,294	0	0	3,530	0	3,530	0	0	2,763	854	96	0	0	514	0	2,656	0

(注)トン未満は厘単位として四捨五入。ただし、数字がゼロであれば小数点以下3桁まで記載は可。

今年 年 度 【令和 7 年 度】 目 標

事業実施の経緯	名 称	社 会 的 課 題 実 施 状 況														④+⑤ 自ら資金又は貸付 借入額が行った額(円)
		①排出量 (t)	②自ら直接 資金利用した量 (t)	③第三者等 から資金利用した 量(円)	④自ら中長期融資 した額(円)	⑤自ら中長期融資 した額(円)	⑥自ら中長期融資 した額(円)	⑦自ら中長期融資 した額(円)	⑧自ら中長期融資 した額(円)	⑨自ら中長期融資 した額(円)	⑩自ら中長期融資 した額(円)	⑪自ら中長期融資 した額(円)	⑫自ら中長期融資 した額(円)	⑬自ら中長期融資 した額(円)	⑭自ら中長期融資 した額(円)	
産業廃棄物の処理																
1	木くず	1,500	0	0	1,000	0	1,000	0	500	0	0	0	0	0	1,000	0
2	がれき類	4,000	0	0	3,000	0	3,000	0	1,000	0	0	0	0	0	3,000	0
3	鹿アスファルト類	10	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0
4	紙くず	50	0	0	0	0	0	0	50	0	0	0	0	0	0	0
5	ガラスコップ・缶 及び陶磁器くず	100	0	0	0	0	0	0	100	0	0	0	0	0	0	0
6	混合廃棄物	300	0	0	0	0	0	0	300	0	0	0	0	0	0	0
7	プラスチック類 (石綿含有廃棄物)	5	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0
8	がれき類 (石綿含有廃棄物)	10	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0
9	ガラス陶磁器くず (石綿含有廃棄物)	50	0	0	0	0	0	0	50	0	0	0	0	0	0	0
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
合計		8,025	0	0	4,000	0	4,000	0	2,025	0	0	0	0	0	4,000	0

(注1)トン未満は四捨五入、ただし、数字が小数で表れる場合は小数以下3桁まで記載は可。